

Campus life at 香港大学



GCP4 期法学部法律学科 3 年の池田桜です。2015 年の 9 月から香港大学に交換留学をしています。眠らない街と言われる香港のど真ん中に位置する香港大学で充実した毎日を送っています。



100 万ドルの夜景の前で香港人の友達と

大学紹介

香港大学は1991年に設立された、香港最古の歴史ある大学です。中華民国を設立した孫文の母校でもあります。香港大学はイギリス植民地時代に建てられたこともあり、イギリス式の大学教育を取っています。国際色豊かで、香港にありながらも授業は全て英語で行われます。留学生の割合も高く、キャンパス内を歩いていて香港人以外の学生を見るのはごく普通です。

大学での勉強

前期は国際関係学と日中外交政策を主に履修しました。留学に来る前に専門知識はある程度勉強してきたつもりだったのですが、さすがは香港大学。異常なほどの課題量と授業のスピードに、毎日ノートを取って授業内容についていくのがやっとでした。また、日本と違って少人数で行うチュートリアルもあり、自分の英語力・専門知識のなさをこれでもかと実感させられました。でもやはり、GCP で寝る間も惜しんで泣きながら課題をやっていた時に比べると精神的にも体力的にも余裕があることに気づきました。GCP で膨大な課題量をこなし、嫌でもやらなければいけないという状況に二年間浸らせていただいたおかげで、タイムマネジメントもしっかりでき、なんとかついていくことができました。

寮の活動

香港大学には10以上の寮があり、寮ごとの活動が多くあります。一ヶ月に一回は high table dinner というハリーポッターで出てくる食堂での食事のようなイベントが開催されます。写真は、期末テストの時期の前に伝統的に行われている supperpass dinner (期末をパスしていこう) というゲン担ぎのイベントの様子です。寮のフロアごとに分かれ、香港式の鍋を食べて子豚を切り刻むイベントを行った時の写真です。子豚をチョップして一回で貫通させればパスできるというゲン担ぎです。



香港日本人商工会議所でのボランティア

香港はとても面白い国で、アジアにありながらも多様な国の人たちが住んでいる国際都市です。そのため、様々な業種の日本企業も香港に支店を置いています。香港日本人商工会議所には、香港で活動を行う日本企業が登録されており、毎月一回それぞれの業種に分かれて情報交換の場である部会というものを開催します。商工会議所所長の配慮のおかげで、9月から日本人商工会議所でボランティアをさせていただいています。内容は部会のセッティングや受付、そして書類整理等の雑務ですが、その代わりに部会に参加させていただきます。このボランティアを通して、香港における日本企業の生の声を聞くことができる上に、部会参加者の方とコネクションを持つことができるため、今までビジネスに興味のなかった私は視野が広がっていると実感します。このように働いている人と学生が繋がることのできるのも香港の魅力です。